

アキアカネ



刈り取り後の田んぼで産卵を行うペア(前がオスで後ろがメス いずれも成熟した個体)

【体長】 33～46mm

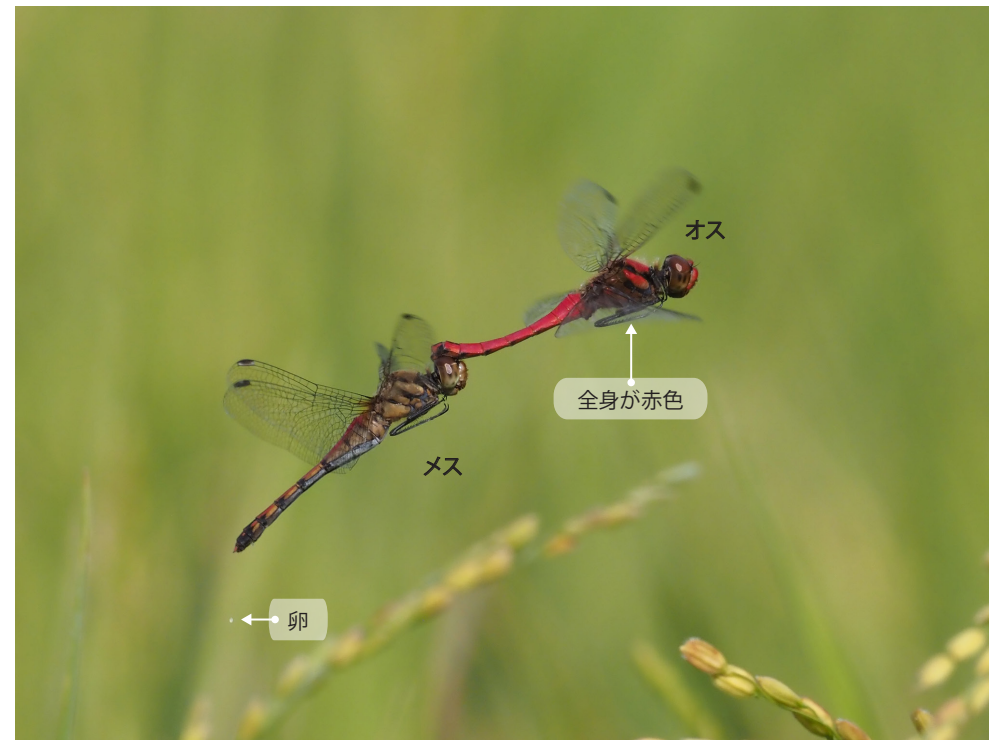
【特徴】 秋にみられる赤トンボの一種です。成熟したものは秋に見られるようになりませんが、羽化は6～7月頃に見られ、羽化後の未成熟のものは秋になるまで山で過ごします。未成熟の時はオレンジ色をしています。成熟するとオスでは腹が赤くなり、メスは腹がオレンジ色のものと、オスのように赤くなるものがあります。

【見られる場所】 浅い水辺で見られますが、特に田んぼでよく見られます。産卵は刈り取った後の田んぼの水面や泥に、飛びながら腹の先を打ちつけて卵を産みます。産卵はしばしば、オスとメスがつながって行われます。

【見られる時期】 6～12月頃

【名前の由来】 「秋に見られるあかね茜色のトンボ」の意味

ナツアカネ



刈り取り後の田んぼで産卵を行うペア(前がオスで後ろがメス いずれも成熟した個体)

【体長】 33～41mm

【特徴】 赤トンボの一種で、アキアカネと同じく6～7月頃に羽化しますが、未成熟の時はアキアカネのような山への移動はあまり見られず、林のふちなどで夏をすごします。アキアカネに似ていますが、少し小さく、成熟したオスでは全身が赤くなります(メスは腹が赤くなります)。

【見られる場所】 浅い水辺で見られますが、特に田んぼでよく見られます。産卵は刈り取った後の田んぼの上を、飛びながら卵を産み落とします。産卵はしばしば、オスとメスがつながって行われます。

【見られる時期】 6～12月頃

【名前の由来】 「夏に見られる茜色のトンボ」の意味。夏の間、アキアカネのように山へ移動せず、夏でも平地で見られることから、このような名前がつけました。